夏井川流域住民による川づくり連絡会　会報第５７号　令和４年１０月５日発行

川でむすぶ

夏井川流域ネットワーク

＜事業報告＞

①第 16 回夏井川流域水質調査
②令和４年度総会
③市夏井川親子せせらぎスクール支援
④令和４年度福島県水環境活動団体交流会 IN いわき
⑤三和小・好間４小環境学習支援
⑥浅見川環境学習支援
⑦パルシステム環境学習支援
⑧いわき鳴き砂トヨタソーシェルフェス 2022 支援
⑨定例清掃

＜行事案内＞　※新型コロナ禍の動向で変更となる場合があります。

第４回夏井川沿いウオーキング（１０／３０）

＜報告＞

①地区懇談会の開催について
②資材倉庫の設置に関して

夏井川河川防災ステーションの活用に期待する

代表世話人　橋本孝一

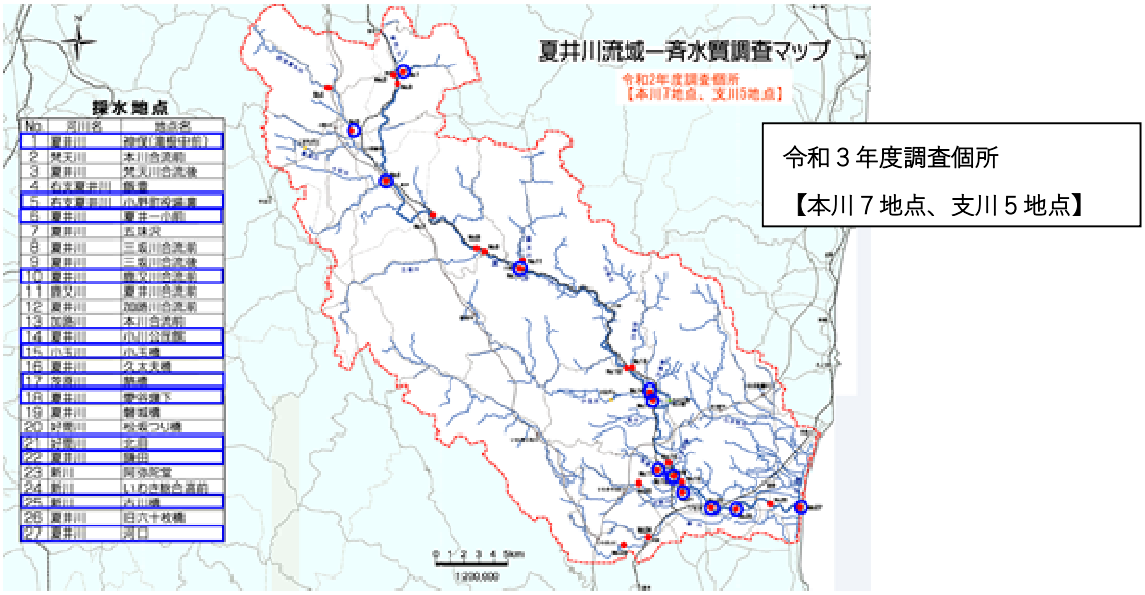
現在、夏井川水系においては、3 年前の洪水被害を踏まえ、河川改修や「流域治水」の視点から森林保全や田んぼダム等の施策が進められつつあります。私たち流域住民の視点からは、真に実効性のある流域治水となるために何ができるか、改修のあり方や今後の河川の維持管理も視野に据えた行動が求められていると思います。そのような中、夏井川下流に設置されている「夏井川河川防災ステーション」（地名は、川中子。中塩地区）の積極的な活用を進めていこうとする動きがでています。本施設は、いわき市が管理しており、今後、夏井川水系における「治水・利水・河川環境」に対する理解を深める場として、学習活用が期待されます。当会でも、有効活用に向けて、積極的に対応していきましょう。

＜事業報告＞①第 16 回夏井川流域一斉水質調査

阿部孝男

今年で 16 回目を迎えた夏井川流域の会主催の「夏井川流域一斉水質調査」は収束が見えないコロナ禍の中で、昨年同様一般参加の募集は行わず会のスタッフだけで６月５日（日）に実施しました。調査地点も調査参加人数の制限もあることから本川７地点、支川５地点の計 12 地点に絞って行いました。

例年同様に、小川公民館の室内にて簡易水質試験を、公民館前の河原で水生生物調査実施しました。



採水した水は小川公民館でパックテストなどの検査を行い、記録表に書き込んでいきました。

小川公民館での計測―「COD(パックテスト)」「導電率」「におい」「透視度」

COD、BOD、pH、導電率は福島高専さんの協力を頂き公定法により計測しました。
川砂の放射性物質はパルシステムさんの協力により計測して頂きました。

パックテストなどの様子　　透視度計測の様子

水生生物調査の様子

調査結果は、結果表に示すとおりですが、傾向としてはやはり例年通り小野町周辺の若干水質悪化～夏井川渓谷での良好な状態～下流域での水質悪化傾向がみられました。

川砂の放射性物質については過年度と比較すると横ばいの状態が続いている傾向が見られました。

水質調査結果については「身近な水環境の全国一斉調査（みずとみどり研究会）http://www.japan-mizumap.org/」に報告済です。

※全国の集計は１２月ごろになるようです。

参加者のみなさん、スタッフのみなさんお疲れ様でした。分析にご協力いただきました福島高専さん、パルシステムさん大変お世話になりました。

子供たちの笑顔が見える夏井川、子供たちの歓声が聞こえる夏井川を目指して今後も継続していきたいと思いますので来年もよろしくお願いします。

＜事業報告＞②令和4年度総会

橋本孝一

既に会員の皆様には総会の議案書等をお送りしておりますが、改めて報告させて頂きます。

去る 6 月 12 日（日）、夏井川河川防災ステーションにて平成４年度（第 23 回）総会を開催しました。昨年度は、新型コロナ禍の影響で活動が縮小せざるをえなかったのですが、20 周年記念誌の発行など可能な範囲で出来た事業及び決算報告をしました。来年度の行事及び予算案が審議され承認を得ました。また役員改選では、全員留任となりました。

総会後のミニ講座では、県いわき建設事務所から「夏井川の河川復旧状況」、市河川課より「流域治水の取組について」の説明をいただきました。

※当会の総会終了後、「夏井川流域の会」の総会（第 16 回）も開催され、昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業計画・予算案も原案通り承認されました。

※総会後の水辺の散策は雨天のため中止し、終了しました。

＜事業報告＞③市夏井川親子せせらぎスクール支援

江尻勝紀

令和４年７月 16 日（土）に小川公民館にて、「夏井川にすむさまざまな生き物の観察を通して、河川とのふれあい、生物多様性や水環境の大切さについて考えて見ませんか？」で参加者を募集し、8 名３組の親子が夏井川をフィールドに行われました。いわき市が主催で、夏井川流域住民による川づくり連絡会員が講師をつとめ、かねてからの知人で新潟県十日町市里山科学館森の学校キョロロに勤めている大平先生(福島大学在学中にで水生生物研究)も馳せ参じてくれました。さらに今回は、高校生のボランティア２名も参加してくれました。アンケート結果では、良い意見が多かったと報告を受けております。学習内容としては、室内で事前に採取した水の水質分析及び夏井川に棲む水生生物の観察を行いました。また、川で楽しく遊ぶためには、川に関しての基礎知識や川の持つ性質（流れの速さ・深さ・淀み）を学習し、体験しました。実際に行う場所は、必ず一度下見をすることが大切になってきます。最近、山・川・海の自然に触れることが少なくなってきています。どうかこの事業が継続されることを願っております。

開会

水生生物調査

川原で同定

簡易水質調査（臭い）

簡易水質調査（透視度）

ボランティアの高校生２名

＜事業報告＞④令和4年度福島県水環境活動団体交流会 IN いわき

田中博文

７月２３日（土）～２４日（日）標記交流会がいわき会場にて開催されました。本来は昨年６月開催予定でしたがコロナ禍で中止となり、改めて今回の開催となりました。本会は平成 15 年郡山会場から始まり、今回で１７回目（前回１６回は西郷会場）となります。

開催間際の７月半ばからコロナ第７波で新規感染者数が急増し開催自体も危ぶまれましたが、多くの方々のご協力により、６０名近くの参加者を迎え、コロナ対策に配慮しながら、これまで通り１日目：基調講演・事例発表・意見交換会、２日目：災害復旧現地視察を行うことが出来ました。

基調講演　川の授業①「都市河川「新川」の社会的役割とその変遷」講師：いわき地域学会幹事 小宅幸一
　　川の授業②「災害復旧状況について」　講師：福島県いわき建設事務所主幹 遠藤恒司

事例発表　①「東日本台風と今後の課題」夏井川流域住民による川づくり連絡会代表世話人 橋本孝一
　　②「いわきの鳴き砂」ＮＰＯいわき鳴き砂を守る会会長 桶田隆司
　　③「西郷村の特定外来生物ウチダザリガニ駆除活動」西郷くらしの会会長 大越則恵
　　④「赤面山の植生復元について」赤面山を緑にする会会長 金澤隆夫

現地視察　新川ひょうたん島、夏井川河口、夏井川三島斜め堰、夏井川河川防災ステーション

毎回会う懐かしい方々、今回新たに参加した方々と親睦を深めることが出来、とても有意義な会でした。次回は「福島会場」の予定です。皆様有難うございました。

開会式

交流会の様子

交流会の様子

基調講演（小宅先生）

基調講演（遠藤先生）

交流会後の集合写真

意見交換会

現地視察（夏井川河口右岸親水公園）

現地視察（夏井川河川防災ＳＴ）

＜事業報告＞⑤三和小・好間4小環境学習支援

橋本孝一

◆三和小学校

本支援講座は、三和公民館の事業の一環として、三和小学校 6 年生（10 名）対象に、「せせらぎスクール」が 3 回にわたって開催され、当会も支援にあたりました。

〇第 1 回目（座学と雨降山水源視察、6 月 1 日 8:25～11:40）：座学（50 分）では、いわき森林組合の松崎正信さんから「森林の役割について」、続いて、当会の橋本から「好間川流域」についての説明がありました。その後、いわき市のバスに分乗し、好間川の水源になっている「雨降山」に登りました。途中、森林の様子を観察しながら、頂上近くでは、山土を少し削るだけで水が湧き出てくる様子を確認、歓声をあげていました。帰路、渓流の生き物探しに挑戦、サワガニやサンショウウオ等が生息しているのを見て、ここでも歓声。

無事、予定通り帰路につきました。（支援者：4 人）

流域モデルで分水界の理解を深める

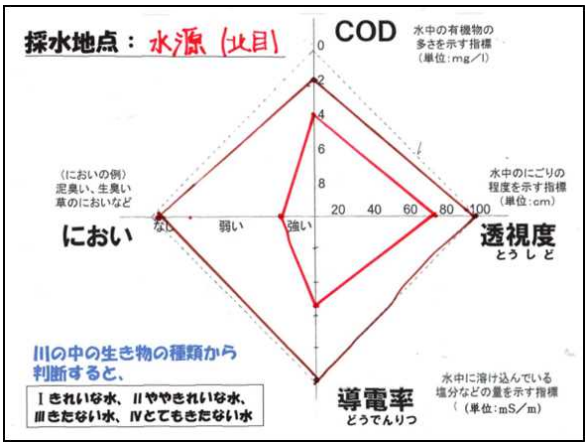
柔らかい土を掘ると水が湧き出た

〇第 2 回目（好間川の生き物調べと水質調査、7 月 4 日 8:25～11:30）：日程説明の後、学校裏側を流れる好間川で、生き物調査をしました。2019 年の東日本台風の影響で、流れの様子も変わりましたが、流れは穏やかで水深も 20～30cm 程度で、児童達は、色々な場所で生き物調査に挑戦していました。

生き物調査の後、校舎に戻り、水質調査に取り組みました。（支援者 6 名）

確認された水生生物（確認後リリース）

カワゲラ	サワガニ
ヒラタカゲロウ	トビケラ
ヒゲナガカワトビケラ	ヒル
シマトビケラ	ヘビトンボ
ナベブタムシ	イモリ
トンボのヤゴ	ホトケドジョウ



簡易水質調査結果と様子

〇第 3 回目（好間川の流れを辿り河口まで、7 月 13 日 8:25～12:00）：学校からバスで、好間川に沿って国道 49 号線を下り、夏井川との合流点手前の愛宕橋でバスを降り、好間川下流の流れを左に見ながら合流点までの 200m 程度を堤防沿いに歩きました。途中、愛谷江筋が好間川を逆サイフォンで横断する施設を観察し、合流点へ。災害復旧工事が進み、合流点の様子が良く見通せました。欄干に据え付けられた「水位観測装置」等、新しい装置も見ることができました。

更に河口を目指し、河口近くの左岸河口公園では、堤防に登り上流の景色を確認する予定でしたが、生憎、霧が立ち込めていて、遠景は確認できませんでした。更にバスは、河口部に架かる新舞子橋を渡り、右岸親水公園へ。干潮の時間帯であったため、カニ釣りに挑戦。皆、競って釣っていました。

◆好間第 4 小学校

当講座は、 NPO 法人いわき環境研究室と共同して支援を行っています。今年度は、4 回実施の予定でしたが、これまで 2 回の講座を実施してきました。

〇第 1 回目（全校生 27 名参加、好間川の源流から河口までを辿る、6 月 2 日 8:30～14:30）：学校からバス 2 台で、好間川の水源から夏井川河口までの見学学習。

①先ずは、好間川の水源地となっている雨降山へ向かいました。1、2 年生は、体力を考慮し、15 分ほど登ったところの渓流で生き物調査を、3～6 年生は、25 分間で行ける所まで渓流を遡りました。渓流では、サワガニやカワゲラなどの生物の他、サンショウウオを 1 尾見つけることができました。

②バスは一路、好間川と夏井川の合流点が見える平橋へ。夏井川との合流点交流点は河川工事により広く見晴らすことができました。

③夏井川河口左岸の堤防上からは上流部の様子をくっきりと見ることができました。更にバスで、右岸側防潮堤沿いにある「みずほの森」の門をくぐり、太平洋を見ながら昼食を摂りました。

④昼食後は、右岸親水空間で、例年通りカニ釣りに挑戦しました。残念ながら、干潮であったため、船乗りはできませんでした。予定通り、無事帰校することができました。

好間川水源地でサンショウウオ発見

河口でカニ釣りに挑戦

〇第２回目（3～6 年生 19 名参加、学校近くの好間川での生き物調査。水質調査、7 月 7 日 8:30～12:00）

校庭でライフジャケットを身に付け、学校近くの好間川の「瀞（とろ）」と地元の人達に親しまれている水辺で生き物調査に取り組みました。調査前には、川の水深や流速、水温等を計り、安全性に配慮して調査をするよう注意を促しました。1 時間程水生生物の採取を行い、その後、採取した生き物の分類に挑戦してもらいました。ヘビトンボ、カワゲラなどの他、10 種類以上が確認されました。特にヒゲナガカワトビケラが数多く採取されました。採取生物は観察後、児童たちの手で川へ返しました。

学校に戻り、5，6 年生（9 名）は好間川の 3 地点（源流、学校脇、下流）の水質分析（COD、におい、透視度、導電率）に取り組みました。結果はそれぞれレーダーチャートにまとめて、好間川の各地点での水質を確認しました。

〇第３回目は、全校生対象の川に触れる体験講座の予定でしたがコロナ禍の状況を踏まえ中止となりました。なお、4 回目は、11 月 2 日、5，6 年生対象の「防災学習」が予定されています。

＜事業報告＞⑥浅見川環境学習支援

阿部孝男

昨年から全国一斉水質調査に参加している、広野町の３河川（浅見川・北迫川・折木川）の一斉水質調査を６月 11 日（土）に浅見川近くの長畑地区集会所で行いました。

参加者は地元広野町にあるふたば未来学園の中高校生、NPO 法人浅見川ゆめ会議のメンバー、福島県土木事務所職員、それを我々夏井川流域ネットワークのメンバー3 名が支援し、合わせて 30 人の参加でした。

調査個所は以下の図に示す８箇所で、午前９時に同時採水し長畑地区集会所で「COD パックテスト・導電率・におい・透視度」の水質分析を行い、集会所近くの浅見川河原で水生生物調査を行いました。

浅見川・北迫川・折木川　水質調査マップ

調査結果はその場で記録表に記入し一目で他個所と比較できるようレーダーチャートを作成しました。

水生生物調査の様子

調査結果と併せて行ったミニ講座での水環境のしくみ、きれいな川を守る工夫、川で遊ぶ際の注意点を学ぶこともさることながら、何よりも参加した中高生たちは川に触れることで川の大切さを学ぶことができたかと思います。

今後も継続してふるさの川を守っていきたいと思います。

＜事業報告＞⑦パルシステム環境学習支援

井上久美子

８／６（土）小川公民館・小川公民館前の夏井川で、パルシステム福島の企画『水辺の観察会』のお手伝いをさせて頂きました。昨年はコロナの影響により中止になり、残念でしたが、今年は実施されました。まずは、事前に採取された５地点の夏井川の水の水質調査。パックテストの容器を曲げるのは、小さなお子様は大変！自分でやった感を持って欲しいので、手を出すようで出して無いようにお手伝い。川の水の匂いの判定は、いつも面白い感想が出てくるので、講師の私たちも楽しみにしています。次に透明度を測る。この判定は年齢によって変わってきたりするので、毎回盛り上がります。つづいて夏井川へ行き水生生物の採取と観察　毎回時間が足りない位、楽しそうな参加者さん。今回も沢山の水生生物を見ることが出来ました。ご安心下さい！小川公民館前の夏井川は　キレイ　と水生生物からも判定出来ました。最後に今回の講評と水の浄化の話。川で安全に遊ぶための注意点の説明をし、昼頃に終了しました。来年こそ午後の川遊び（アクアボール・ボート乗り）が出来ますように。

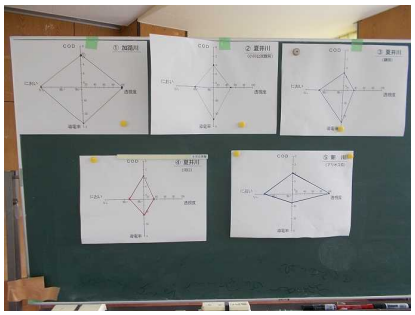
開会

講座

簡易水質試験（COD）

水生生物調査

笹船流し



簡易水質試験結果

＜事業報告＞⑧いわき鳴き砂トヨタサーシャルフェス 2022 支援

桶田隆司

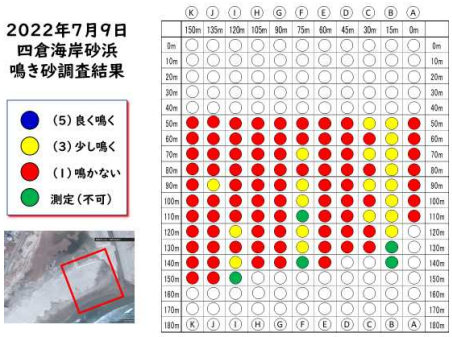
＝ふくしまのきれいな水辺を取り戻そう＝「鳴き砂を守りいわきのきれいな海を再生しよう！」をテーマに実施された、四倉海岸の清掃と鳴き砂調査に参加しました。

鳴き砂は、ごみの少ない、きれいな砂浜で、キュッ、キュッと鳴き音を発生します。きれいな砂浜に分布することから、鳴き砂は環境のバロメータと言われています。

コロナ感染症の影響で、3 年ぶりの開催でＷＥＢによる全国への同時発信もされ、110 名(現地 90 名、WEB20 名)の参加で、ごみ拾い、鳴き砂調査を行いました。

海岸ゴミは、マイクロプラスチックとして海岸に残るプラスチック類が多くありました。鳴き砂調査は、15m×10m の格子状に行いましたが、朝方までの雨の影響もあり、鳴き砂の分布は少ない状況でした。(全調査数 108 ヶ所、よく鳴く 0 ヶ所 0%、少し鳴く 20 ヶ所 18%)

トヨタミライを使った給電デモも行われ、ごみを捨てない、プラスチック類を減らす等、人々や生物が快適に過ごせる環境に配慮することの重要性が再認識されました。そして、鳴き砂を次世代につなぐ高専生 9 名の今後の活躍に期待したいと思います。



＜事業報告＞⑨定例清掃

田中博文

当会では、定例清掃として基本的に毎月第一土曜日の朝７時３０分から１時間半程度の清掃活動を実施しています。身体を動かすついでに周りがきれいになっていくことは、健康的であり気持ちいいことです。会員以外の方も参加可能で、道具は事務局で準備しますので、多くの方の参加をお待ちしています。

会報前号（５６号：5／28 付け）以降の活動実績は下表のとおりです。

月日	区分	場所	内容	参加者数	備考
6／ 4（土）	定例	夏井川河川防災ステーション	草刈り・ゴミ拾い	９名	
7／ 2（土）	定例	夏井川河口右岸親水公園	草刈り・ゴミ拾い	９名	
7／16（土）	臨時	夏井川河川防災ステーション	草刈り・ゴミ拾い	５名	
7／30（土）	定例	夏井川河口右岸親水公園	草刈り・ゴミ拾い	６名	
9／ 3（土）	定例	夏井川河川防災ステーション	草刈り・ゴミ拾い	８名	

草刈り後の夏井川防災ＳＴ（入口部）

草刈り後の夏井川河口右岸親水公園

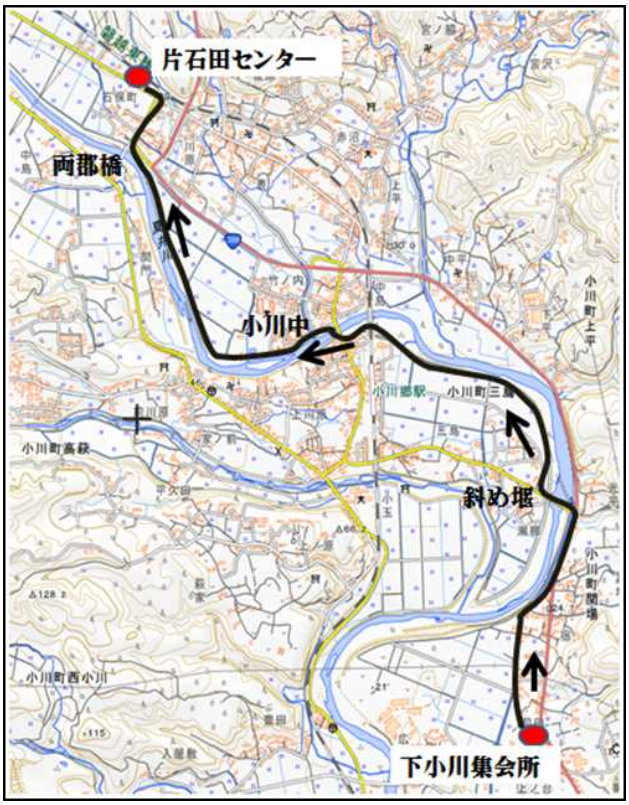
＜行事案内＞第4回夏井川沿いウオーキング

夏井川河口から水源（滝根町仙台平）を目指し、夏井川の現状を体感、川の持つ魅力を発見、広く情報を共有することを目的として令和元年から夏井川沿いウオーキングがスタートしました。

昨年度まで（第１～３回）には、夏井川河口～下小川集会所まで約 20km を川沿いに歩いてきました。

今年度第４回として下記の要領で実施します。川沿いの史跡・風景を見ながらゆっくり歩きますので、是非、ご一緒に歩いて見ませんか。

①実 施 日　　2022 年 10 月 30 日（日）
②集合時間　　午前 9 時
③集合場所　　下小川集会所
（いわき市小川町下小川中柴 127-1）
駐車できます
④ウオーキングコース（右図参照）約 7 km
下小川集会所　⇒　斜め堰
⇒　夏井川右岸沿い
⇒　両郡橋
⇒　片石田構造改善センター
（意見交換、昼食）13 時頃解散予定
帰りは世話人の車に分乗して出発地の
下小川集会所へ戻ります
⑤募集人数　　先着 30 名程度
⑥参 加 費　　無料
⑦各自準備　　昼食、飲み物、運動靴
⑧参加申込　　事務局または世話人へ
※小雨決行ですが通常雨天時は中止



＜報告＞①地区懇談会の開催について

当会では、夏井川流域内に住む住民の方々が、夏井川とどのような係り方をし、どのように感じておられるのか、膝を交えて話し合い、会の事業に反映させていくため「地区懇談会」を開催してきました。当会発足 3 年目の平成 14 年（2002 年）4 月 10 日には、小川町で第一回目の地区懇談会を持ち、その後、平成 15 年までに内郷・平窪・夏井・鎌田・川前・好間地区と順次、開催してきました（詳細は、当会 20 周年記念誌 p21 参照）。一連の地区懇談会の内容は、その後の当会の事業内容を決めていく上で大変参考になりました。

その後、2011 年（H23）の東日本大震災や 2019 年（R1）の東日本台風等の大規模な自然災害等により夏井川を取りまく状況は、大きく変化してきました。当会発足 22 年を経過した現時点で、改めて住民目線での課題や展望について、話し合いの場を持ち今後の事業展開に活かしていきたいと思い、下記の議題で地区懇談会を再開したいと考えております。つきましては、小川地区の開催を計画中であり、決まり次第ご案内しますので、より多くの方々のご参加をいただければ幸いです。

【地区懇談会開催要領（案）】
①開催時間　　平日 18:30～20:00
②開催場所　　各地区公民館または集会所
③議　題　　過去懇談会での話題、現在の課題、当会事業との係わり方、その他
④出席者　　地区代表者・住民、当会世話人

＜報告＞②資材倉庫設置に関して

当会で実施している環境学習支援事業やウオーキング・川下り等川に親しむ事業、防災意識の高揚に係わる事業等で使用している資材には、採水ポリタンク、ゴムボート、ボート船外機、ライフジャケッス、アクアボール、水生生物採捕用網、大型展示パネル、流域模型、清掃道具、その他備品などありますが、結構かさばる物が多く、現在のところ橋本代表、事務局、他会員それぞれ個人で保管しています。

現在、当会が定例清掃を実施しているいわき市管理の「夏井川河川防災ステーション」の敷地内への資材倉庫の設置について、いわき市と協議を進めており、年内の協議・調整の完了を目指しています。資材倉庫を設置できれば、上記資材の保管、メンテナンスができ、さらには夏井川・新田川の水辺に近接している立地性も加えて水辺教室・防災教室の拠点として当地を活用できるものと期待しています。

現在のところ、資材倉庫を購入する資金が不足しているため、パルシステムの地域づくり基金へ助成交付を申し込んでおり、来年２月上旬の選考結果を待ち望んでいるところです。今後動きがありましたら、この場で報告いたします。

＜事務局よりお願いなど＞

■世話人会に参加してみませんか

当会は毎月第１火曜日に「世話人会（１８：３０～）」を開催し、事業の反省や今後の在り方など、いろいろな話し合いを行っています。会議時間は１時間程度で、誰でも参加できますので、是非ご参加ください。

会場は主にいわき市文化センター（いわき市平堂根町1-4）ですが、開催日も含めて変更となる場合がありますので、世話人または事務局へご確認下さい。

～～～　会員の皆様からのご意見・御寄稿をお待ちしております　～～～
（行事予定は下記ホームページでも案内しています）

【会報　第５６号】 2022.5.28

発　　行　：　夏井川流域住民による川づくり連絡会（略称:夏井川流域ＮＷ）
代表世話人：　橋本孝一
事 務 局　：　〒972-8311　いわき市常磐水野谷町亀ノ尾171地質内
　　田中博文　Tel)0246-88-8810　Fax)0246-88-8907
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　：　http://blog.natsuigawa-karyu.net/　　夏井川流域で検索